

堤町	<p>堤町子ども育成会獅子講 (毎年7月夏休み最初の日曜日)</p> 	<p>獅子講は、夏休みが始まる最初の日曜日の行事です。途中一時的な中断があるものの50数年来の子ども行事として受け継がれています。150戸もある各戸を訪れ「無病息災」「家内安全」のおはらいをして御酒とお札を配ります。午前中にスタートをし体力を使い果たす夕方まで各戸を回ります。終わればスイカ割りや灯ろう火入れ、だんべえ踊りや花火大会でその労をいやす。今年(H26)も暑い中頑張り通した子供達でした。</p>
堤町北区	<p>堤北ふれあい夏祭り (毎年7月下旬)</p> 	<p>第3回の夏祭りは、7月27日午後2時から6時30分に終了します。会員の親睦と世代間交流を目的として行われています。子ども育成会を中心にしたおもちゃゲーム・輪投げ・スイカ割りの行事を行い、いきいきサロン・さわやか会の流しソーメンでは大人子どもも交じて流れてきたソーメンを取り合いながら楽しく食べます。友情出演で八木節踊りや華クラブの民舞があり、華クラブの音頭で全員が輪になって踊り、夏祭りが最高に盛り上がります。その勢いに乗ってカラオケ大会があり、子どもから大人まで思いっきり声で歌い、最後はビンゴゲームをして全員に景品が渡るようにします。楽しい夏祭りです。</p>
江木町	<p>六所神社・菅原神社「天神様」の祭典 (毎年4月8日、10月19日)(初詣12月31日～1月1日)</p> 	<p>六所神社は、垂仁天皇の時代からの由緒ある神社であり、農商工・家内安全・学業成就・縁結び・安産の神様として広く信仰を集めています。菅原神社の年代は不詳ですが、学問の神様として奉えています。地元では天神様として親しまれています。祭り事は、毎年4月8日と10月19日の2回の祭典と12月31日～1月1日の初詣を実施しています。昭和62年3月の社殿建立時に大人神輿2台と子ども神輿1台を奉納し、4月の祭典時に行っていたが、最近では8月の第一週の土曜日に夏祭りを行っています。担ぎ手不足から大人神輿1台と子ども神輿を出し、六所神社から菅原神社間を担いでいます。</p>
江木町第二	<p>竹とうろう灯明会 (毎年8月のお盆)(H26=8.16)</p> 	<p>8月のお盆に、江木町第二親水公園において、黄泉の国へ旅立たれたご先祖様や友人、知人等、ゆかりの深い人々を、約200本の竹灯ろうのローソクをともし、供養の短冊をはり、幻想的にゆらぐ灯を皆で観賞しています。</p>
萱野団地	<p>萱野団地夏まつり (毎年8月第一土曜日)</p> 	<p>平成26年の夏まつりは、全員朝7時に集合し、テント張り、舞台作り、売店準備に取りかかり、午後1時に売店を開始し4時終了、大体の片付けをし6時に反省会を開始、8時頃終了しました。残った片付けは翌朝7時から全員で行いました。主な内容は、「売店」=焼とり、焼きそば、かき氷、きうり一本漬、から揚げ、フライドポテト、カットフルーツ等。「イベント」=沖縄エイサー、子供神輿の引き廻し、ピアノ演奏によるカラオケ。「抽選会」=三角くじを一人1点づつ引いてもらい、その場で景品を渡す方法で実施しました。また、「沖縄エイサー」は、東京新宿に出演するメンバーで本格的なもので祭りのムードが盛り上がりました。</p>
堤町ローウズン	<p>夏祭り (毎年7月20日頃)</p> 	<p>我が町の夏祭りは、レクリエーションを通して住民の親睦を深めることを目的に、毎年夏の風物詩として開催されます。自治会、子供育成会、公園愛護会が主催となり、大人も子どもも喜ぶ模擬店は毎年大盛況となります。また、子ども神輿をはじめ子供が楽しめる催しも毎年子供達の笑顔がいっぱいになる時間となります。そして、この祭りの終盤は抽選会があり、住民が会場の中央に集まり、ワクワクしながらの時間が過ぎ、終了となります。</p>
東ローウズン	<p>初めての「夏遊び」 (平成26年8月31日)</p> 	<p>東ローズタウンは、新しい団地のためお祭りといえるものはありませんが、子ども達の思い出作りや団地内の連携を図ることを期待するため、平成26年8月末に育成会有志が主体となり、小規模ではあったが、初めての「夏遊び」が公園にて開催されました。多くの子ども達が参加した「だんべえ踊り」に始まり、手作り感にあふれたゲーム、模擬店等によりささやかながらもとても楽しいお祭りになりました。教育的要素もさりげなく取り入れられており、子どもたちにはとても良い体験になったと思われる。来年に向けて大きな1歩を踏み出す事が出来たと思います。</p>

地域づくり通信第18号(特別号)

地域再発見

伝統行事・地域のまつり

平成26年12月15日(2014年)

桂萱地区地域づくり推進事業

テーマ「住みよい桂萱づくり」

編集・発行 桂萱地区地域づくり推進協議会 広報啓発部門 事務局(桂萱公民館内) TEL261-0111 FAX261-2631


全21町のお祭りが勢ぞろい! ~子どももお年寄りも楽しく参加~

平成25年度・26年度の活動テーマとして、当地域の素晴らしさを再発見していただきたいとのことから、各町で行われている「伝統行事・地域のまつり」をテーマに特別号を発行することとなりました。発行するにあたり、写真などの資料提供を広報啓発部門の委員のほか、自治会長、生涯学習奨励員など地域の皆様にもご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

この特別号を参考にさせていただき、それぞれの伝統行事やお祭りが継承され伝統を積み上げていっていただくよう願っております。なお、この紙面に掲載したもののほかにも貴重な行事やお祭り等があるかと思いますが、それは次の機会に譲りたいと考えておりますのでご了承ください。


三一 俣町目 ①	<p>前橋まつり (毎年10月第二土・日曜日)</p> 	<p>平成元年から前橋まつりの中心街渡行に大人・子供神輿それぞれ参加しています。最初は借りた神輿で青年会を中心とした少人数での参加でしたが、今では自前の神輿を持ち、三俣町2・3丁目青年会にも協力いただき、そろいのハッピーで男女が交互にかついで渡行する大きな輪になっています。</p>
三一 俣町目 ②	<p>三俣町一丁目納涼祭 (毎年8月第一土曜日)</p> 	<p>我が町の納涼祭は、2部構成でおはやしと子ども神輿が町中をねり歩く昼の部、ステージの催物と模擬店の夜の部で行われます。子供達は夏休みに入るとすぐにおはやしの練習を始めます。教えるのは、小学生の時におはやしをしていた中高生です。こうして受け継がれていくのです。</p>
三二 俣町目 ①	<p>三俣町二丁目納涼祭 (毎年8月第一土曜日)</p> 	<p>納涼祭は、三俣町が一丁目から三丁目に分離独立した昭和53年度の8月から自治会・各種団体が中心となり始まりました。昭和61年に地元電気工事店から納涼祭を盛り上げることと子供たちの思い出作りのため子供神輿の寄贈がありました。現在も納涼祭当日は、子供たちが公民館からリヤカーに神輿を乗せて引っ張り、町内を一周しています。納涼祭は、毎年8月第一土曜日ににぎやかに実施しています。</p>
三二 俣町目 ②	<p>クリスマス会 (毎年12月第一日曜日)</p> 	<p>子供育成会の主要事業としてのクリスマス会に、平成25年度はバルーンアートの先生をお招きし、子どもたちがバルーンアートに挑戦しました。まずはネズミ作りです。細長い風船に空気を入れて、ねじるときは割れそうでドキドキしましたが、かわいいネズミができました。みんなでネズミ飛ばしをして遊びました。もう一つは、クリスマスリース作りです。2色の風船をねじり合わせるのが少し難しかったが、完成した色とりどりのリースにみんな大喜びでした。また平成26年もクリスマスに楽しいイベントを企画したいと思います。</p>
三三 俣町目	<p>三俣町三丁目納涼祭 (毎年8月第一土曜日)</p> 	<p>民謡踊り、だんべえ踊りが終わって、最後に花火大会を行いました。(毎年)今年もナイヤガラを行い、10メートルほどロープを張って、花火を約50本ほどつけ一斉に火をつけました。明るくて、ほんとうに見事で皆さん大変喜んでいました。</p>

幸塚町納涼祭（毎年8月第一土曜日）




恒例となりました真夏の風物詩「幸塚町納涼祭」が8月2日（土）公民館にて開催されました。年に一度の町を挙げてのお祭りとして、会場には沢山の子供たちで賑わいました。
お祭りは午後2時から子ども祭り囃子が町内に向けスタートし、町内を4時過ぎまで巡回いたしました。
納涼祭は午後5時から公民館庭に設置された舞台を中心にカラオケ大会や各種イベントが行われ模擬店も大繁盛でした。

上沖町子供会「夏休みおもしろイベント」（毎年夏休み＝H26.8.3）




毎年夏休みに、子供育成会が主体となって「夏休みおもしろイベント」を開催しています。
ヨーヨーすくい、スーパーボールすくい、バーベキュー、型抜き、流しそうめん、かき氷など緑日気分を味わった後、皆で女性手作りのカレーを食べます。
その後、ビンゴ大会・花火大会と楽しいことが続き、最後に全員で片付けをして、思い出に残る一日が終了します。

納涼祭（下沖町祇園ばやし）（毎年8月第一土曜日）




下沖町納涼祭は、昭和50年代中頃から続く町の最大行事で、過去には子ども育成会でも実施した年もありますが、自治会をはじめ町内各種団体の役員、委員、協力者等による実行委員会を組織して、公民館を会場に実施しています。
下沖町祇園ばやしは、戦争をはさんで長く途絶えていたのを、昭和60年に子ども育成会が復活させたもので、子どもたちが受け継いでいます。
納涼祭で、その子どもたちが乗って町内を巡行する山車も、当初は軽トラックを改造した簡素なものでしたが、平成8年には町内の有志により、欄間に彫刻を施し、「桃太郎」のからくり人形を備えた、オール手作りの本格的な山車が製作されました。毎夏、災厄を払う鬼退治に♪“コンチキチン”と町内を廻ります。

西片貝町町民納涼まつり（毎年8月第一土曜日）




この納涼まつりは、平成26年で28回を数え、「演芸などを楽しみながらお互いに知り合い、親睦を深め、住みよい町づくりの意識を高めよう」をテーマに開催しております。
例年8月の第一土曜日を開催日として、公民館と駐車場を会場に行われます。駐車場に舞台が作られ、催しものは小学生を中心とした祭り囃子、愛好会のフラダンス、だんべえ踊り、民謡踊り、カラオケ、子どもスイカ割り大会等があります。また各種団体の模擬店も充実しており、子どもから大人まで楽しめます。変わったところでは、ぬり絵コンクールの展示・表彰式なども好評です。
平成27年には、待望の山車も完成して、山車も参加する予定です。

東片貝町納涼祭（毎年8月第一土曜日）




納涼祭は、平成26年で31回目を数えました。民謡・踊り・抜刀術等、充実したプログラムの中でも、子供祇園囃子は最も盛り上がる出し物の一つとなっています。
東片貝町における祇園囃子の歴史は古く、江戸時代末期に疫病払いを目的として、京都の八坂神社から伝えられ今日まで続いているものです。一時中断した時期もありましたが、現在では、有志のお囃子指導者・子供育成会・自治会の役員等が中心となり、伝統行事の灯を消さぬように町を挙げて保存に取り組んでいます。
学校が夏休みに入ると、公民館で納涼祭に向けてのお囃子の練習が始まります。日が落ちて少しだけ涼しくなった風に乗って、どこからともなく聴こえてくる笛・太鼓・鉦（かね）の軽快な音色は、東片貝町の夏の風物詩となっています。

諏訪神社秋の祭礼。獅子舞奉納（毎年10月17日の直近の日曜日）




上泉獅子舞は古くは悪魔や伝染病の厄払い、雨乞いが目的であったようですが、現在は五穀豊穡と地域の安寧と発展を願って、諏訪神社に奉納されます。始まりは、9世紀と伝えられています。舞の構成は、法眼、雄獅子、雌獅子の三頭で踊り、笛が二人で吹きます。花笠二人はササラを持ち、これをすり合わせて囃子に興を添えます。特徴としては、優美な舞方をします。昭和45年に前橋市の無形文化財に指定されました。
3年に一度町内の山車5台と神輿3台が境内に集結して祭り囃子を奉納します。

上泉町納涼祭（毎年8月第一日曜日）




納涼祭は、上泉町自治会を中心に長寿会、子ども育成会、体育協会などで実行委員会を組織し例年開催しています。
町内の子どもから高齢者までが参集して真夏の午後カラオケで始まり八木節、民謡踊り、フラダンス、だんべえ踊り、各種ゲームなどを披露し過ごす夏の行事です。模擬店等出店し会場の雰囲気盛り上げています。全町内の三世代が交流するイベントとして定着しています。

三世代交流事業「餅つき大会・しめ縄作り」（毎年12月23日）




地域の各家庭で行われていた「餅つき」「しめ縄作り」が姿を消しつつあります。この伝統行事を地域に残そうと、餅つきは、古くから行われてきた方法（臼と杵で行う）で行います。ついたお餅は、あん入り餅、からし餅で参加者に振る舞われます。しめ縄作りは、地域の技術継承者が担当し、各自つくったものを持ち帰り家庭に飾ります。

石関町納涼祭（毎年7月下旬）




納涼祭は、当初子供会が夏休み期間に公民館で一泊のキャンプを実施（現在も継続）、その際に町内の各種団体（八木節愛好会等）がより盛り上げるため、長寿会等を招待して桃ノ木川の河川敷で八木節・だんべえ等の踊りを披露したのが始まりです。
平成22年に会場を石関公園に変更し町内全員参加で賑やかに実施しています。

亀泉町納涼祭（毎年8月第一土曜日）




第10回(H26)納涼祭は、好天に恵まれ16時から公民館で開催。始めに30年前に製作された亀っ子神輿が、子供達の掛け声とともに公民館周辺を練り歩き、館の南の如意寺地蔵祭りへの参加で第一部がスタート。
住職さんの護摩たきで町内皆様の健康安全を祈願。公民館では子供対象の輪投、駄菓子家、パターゴルフ、ボールすくい、スイカ割り等でにぎわい、夕刻になると第二部に移って、亀泉音頭、八木節、カラオケ、だんべえ踊り、花火大会と進み抽選会で終了。出店では、やき鳥、やきそば、フランクフルト、かき氷、生ジュース、缶ビール等がワンコインで振舞われた楽しい夏の夜でした。

江木団地納涼祭（毎年8月上旬）




納涼祭は、江木団地自治会と子供育成会が中心となり始まりました。手作り屋台、手作り子供神輿はダンボールで作りました。
朝、子供神輿が団地を一周し、もどり、子供スイカ割り、夜の花火大会で終わります。

荻窪町納涼祭（毎年8月第一土曜日）




長年に亘り、荻窪町八木節保存会主催により実施していた納涼祭が、平成25年度から自治会主催による全町的なお祭りとして再開しました。
場所も公民館駐車場から十分な広さのある町民広場に移り、各種団体の協力の下に盛大に開催されました。
当日はこども神輿、南中ソーラン、カラオケ大会、八木節踊り、長寿会の踊り、だんべえ会の踊り、フラダンス等のほか会場には生ビール、焼きそば、焼き鳥、綿菓子、かき氷、焼きとうもろこし、冷やしうどん等の模擬店が出店し、多くの町民で賑わいました。

お獅子回し（毎年1月・7月）



毎年1月の厳寒(冬季)時期と7月の猛暑(夏季)時期の2回、町内の家内安全と魔除けのため、町内の路地をくまなく回ります。
開始年代は定かではありませんが、堀之下町唯一の伝統行事として長く継承されています。

納涼祭（毎年7月末の日曜日）



毎年7月末の日曜日に開催されます。「町内の子供達の夏の思い出作りにしたい」と発足当時の子供会育成会が中心となり開始されました。
平成26年で34回目となり、今では第二の伝統行事になっています。